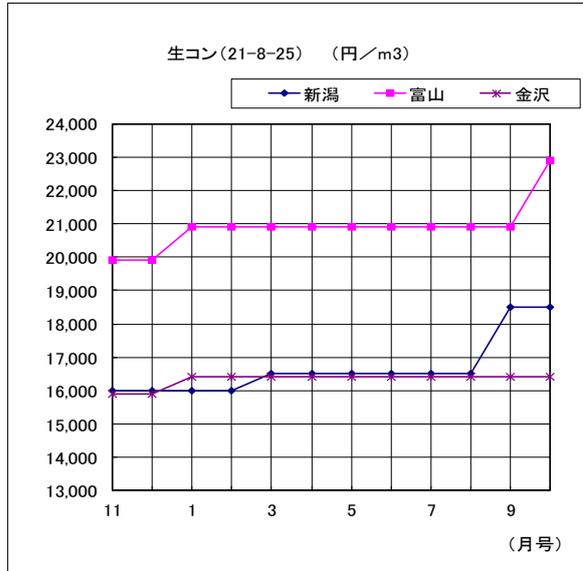
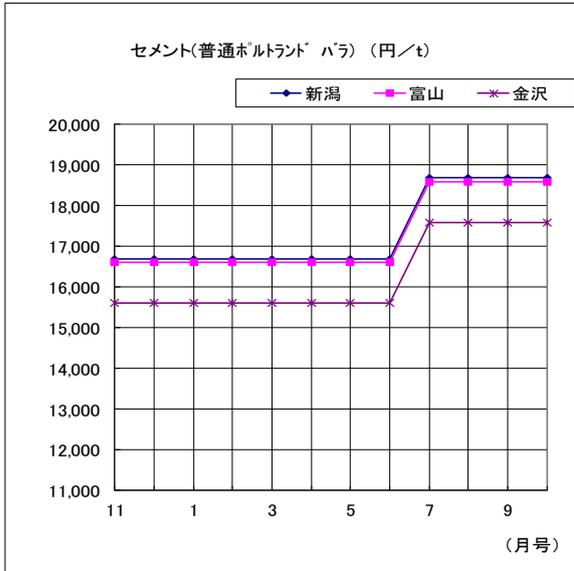


5. 主要建設資材の市況

記事提供：(一財)経済調査会 北陸支部

品目	7～9月期の状況と現況	先行き
セメント	全地区、動意なし 【新潟県】メーカー各社によるセメント価格の値上げが2025年6月に浸透して以降、市況は横ばいで推移している。県内では、生コン需要の減少が続いているため、セメントの出荷量も低迷している。販売側は、出荷減に伴う固定費増やカーボンニュートラルへの対応などを踏まえて、採算重視の姿勢を崩しておらず、価格維持に注力している。先行き、横ばいで推移しよう。 【富山県】セメント価格は、2025年6月に主要セメントメーカーの輸送費や工場設備メンテナンス等のコスト上昇を背景に値上げが浸透して以降、横ばいで推移している。県内では、大口需要者による生コン需要が盛り上がり欠いており、セメントの荷動きは冴えない。販売側は、需要者の指し値には応じず、現行価格維持に注力している。先行き、横ばいで推移しよう。 【石川県】セメントメーカー各社によるセメント価格の値上げが2025年6月に浸透して以降、市況は横ばいで推移している。県内では、加賀方面で生コン需要が減少しているものの、能登方面では災害復旧工事により生コン需要が増加しており、セメント出荷量を下支えしている。そうした中、メーカー各社は市況維持に注力しており、販売姿勢に緩みは見られない。先行き、横ばいで推移しよう。	先行き (バラ物) (新潟) → (富山) → (金沢) →
	全県で価格交渉が進展 【新潟県】各協組では、セメント・骨材などの値上げを背景に、2025年4月前後に県下全域でm3当たり2,000円以上の値上げを実施し、組合組成率の向上を含めた市況上伸に向けて強気の姿勢で交渉を継続してきた。当初、需要者側は度重なる値上げに対して抵抗を示していたものの、原材料高騰の背景に理解を示したことで9月までに県下全域でm3当たり2,000円以上の上伸に至った。先行き、横ばいで推移しよう。 【富山県】協組側は、原材料であるセメントの値上げに対応すべく、2025年4月よりm3当たり2,000円の値上げを唱え、需要者との交渉を継続している。新川地区では、非組合員が存在しないため売り手優位で交渉が展開し、7月に値上げが浸透。高岡・富山地区では、原材料コストの増加を背景に非組合員も価格転嫁に動いたことから値上げへの足並みが揃い、9月までに値上げが浸透した。一部の地区では、大口の出荷案件で需要者との価格交渉が難航するケースも見られるものの、販売側は採算悪化を回避すべく売り腰を強め交渉に臨んでいる。先行き、強含みで推移しよう。 【石川県】県内各地域の生コン協組は、2025年4月よりセメント等原材料の値上げを要因としてm3当たり2,500円～3,500円の値上げを求め需要者側と交渉を継続。能登方面(輪島、七尾、羽咋)では災害復旧に伴う民間建築の小口需要が多数生じたことを背景に需給のタイト感が強まり、7～8月にかけて新価格が浸透した。加賀方面のうち、金沢、小松地区では非組合員との競合により新価格の浸透に時間を要している。一方、白山地区は山間地域といった特性から非組合員社との競合が生じにくく、7月に新価格が浸透した。金沢、小松地区では値上げ交渉が継続されていることから、荷動きの増加に伴い徐々に市況上伸が図られると見る向きが多く、先行き、強含みで推移しよう。	(21-8-25) (新潟) → (富山) → (金沢) →
	新潟地区では交渉姿勢が強まる 【新潟県】路盤材メーカー各社は、出荷量の低迷および製造コストの上昇を理由に、2025年4月よりm3当たり500円の値上げを表明している。需要者側は、度重なる値上げに対して難色を見せていたものの、製造コストの上昇に対して一定の理解を示しつつある。地区によって温度差があるが、魚沼や村上などの一部エリアでは市況が上伸。新潟地区においても、販売側は売り腰を強めている。先行き、強含みで推移しよう。 【富山県】富山県骨材販売協同組合は、2024年度までの3年連続となる値上げ打出しにより需要者からの反発が強まったことで、2025年度においては現行価格の維持および安定供給に注力する構えを示している。しかし、設備メンテナンスや運搬等の諸コストの上昇に歯止めがかからないことに加え、採取適地の減少による製造コスト増加を背景に、2026年4月よりt当たり500円～600円の値上げを表明した。目先、横ばいで推移しよう。 【石川県】路盤材メーカー側では、工場経費の増加を背景に2025年3月以降順次値上げを打ち出したが、年度当初は荷動きが乏しい状況が続いた。需要者側は昨年度に続く値上げに対し難色を示したものの、供給源に限られることから交渉材料に乏しく、7～8月にかけて災害復旧工事や民間造成地、河川工事向けに引き合いが生じた結果、新価格の浸透が進み、輪島、金沢、白山、小松地区での市況はm3当たり400～500円上伸。先行き、横ばいで推移しよう。	(C-40) (新潟) → (富山) → (金沢) →

【価格推移】



品目	7～9 月期の状況と現況	先行き
棒鋼	<p>全県、数量志向が強まり下落</p> <p>【新潟県】メーカー側は生産調整を含めた価格維持に努める動きを見せるものの、販売側は県内の需要が低迷していることから数量志向を強めた結果、9月にt当たり1,000円の下落を示した。以降も需要回復の兆しが見えない中で、少ない物件を受注すべく競争激化の様相を強めている。先行き、弱含みで推移しよう。</p> <p>【富山県・石川県】土木物件の一部で荷動きが見られるものの、秋需は不発との声も聞かれ、地合いは弱い。販売側は、値下げ余地が乏しくなる中、安値では折り合えないとの姿勢を示しているが、少ない物件をめぐって、小口当用買いに徹する需要者との綱引き状態が続いている。中長期的な需要に好転の兆しはなく、先行き一段安の可能性も。当面、弱基調で推移する見通し。</p>	<p>(異形棒鋼)</p> <p>(新潟)</p> <p>(富山)</p> <p>(金沢)</p>
コンクリート二次製品	<p>全県、一部製品で価格交渉が進展</p> <p>【新潟県】メーカー側は、セメント・骨材等の高騰による製造コスト増加を背景に、2025年4月に値上げを表明し価格交渉に臨んできた。販売側は、2025年2月に県内の中堅クラスメーカーが撤退するなど、経営環境が厳しさを増している状況に一段と危機感を強め、採算確保を優先し売り腰を強めた。需要者側は、原材料の高騰など製造コストの上昇及び業界の取り巻く環境に対して一定の理解を示し、ボックスカルバート等の一部製品で値上げを受容した。他の製品においても荷動きが増えるにつれ値上げの浸透が進む見通し。先行き、強含みで推移しよう。</p> <p>【富山県】メーカー側は、昨年度の値上げ交渉における未達分に加え、4月からのセメント値上がり等を考慮した価格設定に改め、4月より仕切り直して需要者との交渉に臨んだ。需要者側が度重なる値上げに対し抵抗を示す中、販売各社ではこれ以上のコスト負担は安定供給に支障が出るとの共通認識から足並みが揃う形となった。結果、自由勾配側溝では荷動きの増加に伴い交渉に進展が見られ、新価格が浸透した。その他の製品に関しては、今後、荷動きの増加に伴い新価格での交渉が本格化する見通し。先行き、強含みで推移しよう。</p> <p>【石川県】メーカー側は、2025年4月より2～7%程度の値上げを表明し需要者と交渉を図った。昨年に続く値上げに対し、需要者側は強い抵抗を示したが、販売側は原材料のコスト上昇及び能登方面に対する運賃コスト上昇を販売価格に転嫁すべく交渉を継続した。災害復旧に伴う法面工事の小段排水や圃場整備事業などでベンチフリームをはじめとした水路類は、実需の後押しが伴い値上げの一部が浸透。他の製品においても今後荷動きが本格化するにつれ価格浸透が進む見通し。先行き、強含みで推移しよう。</p>	<p>(道路用製品)</p> <p>(新潟)</p> <p>(富山)</p> <p>(金沢)</p>
アスファルト合材	<p>新潟県の村上・糸魚川地区、石川県の能登地区で価格上伸</p> <p>【新潟県】メーカー各社は、骨材・石粉の値上げ要請等を理由に値上げを検討しているが、ストアス価格が反落したことから、他社の対応を睨みながら値上げのタイミングを模索している。一方、村上地区および糸魚川地区においては、出荷量減少に伴う諸経費の負担増を価格へ転嫁すべく販売側は売り腰を強めた。需要者側は難色を示したものの、安定供給のためには止むを得ないとして値上げを受容した結果、価格は9月にt当たり900～1,400円上伸。先行き、横ばいで推移しよう。</p> <p>【富山県】販売側では、原材料である石粉の値上げを製品価格に転嫁する機会を伺っている。一方、主要原材料のストアス価格は低調に推移しており、骨材については骨販協組が今年度内の現行価格の維持を表明したことから価格に動意は見られない。こうした状況から、需要者側は合材価格の据え置きを要求しており、両者の主張は折り合わず交渉は平行線を辿っている。先行き、横ばいで推移しよう。</p> <p>【石川県】能登地区では、災害復旧に伴う舗装工事により、合材の需要は旺盛な状況が続いている。一方、金沢を含む加賀地区は大型案件に乏しく、荷動きは精彩を欠いている。こうした中、能登地区では販売側がもう一段の価格引き上げを行うべく、2月から6月にかけて値上げを実施した。合材の供給元が限られ、需給がひっ迫する状況下で需要者側は安定供給を優先し、やむなく値上げを受容。これにより価格は8月にt当たり1,500～1,700円の上伸を示した。目先、横ばいで推移しよう。</p>	<p>(粗粒-20)</p> <p>(新潟)</p> <p>(富山)</p> <p>(金沢)</p>

【価格推移】

